

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年10月22日

計画の名称	二本松市緑の基本計画策定と快適な子育て環境づくり												
計画の期間	平成29年度 ~ 平成33年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	二本松市												
計画の目標	本市は、智恵子抄にも詠われた安達太良山、阿武隈川などの豊かな自然や、国指定史跡「二本松城跡」、国指定名勝「安達ヶ原黒塚」などの歴史文化を有しており、また、旧二本松藩の城下町である中心市街地では350年余続いている「二本松の提灯祭り」や「二本松の菊人形展」などの文化継承活動も行われている。しかしながら、急激に進行する少子高齢化や人口減少により、市内の生産活動や文化活動、地域サービスの衰退が見込まれているところである。このため、本市においては、持続可能で良好な都市環境の整備や、ストック効果の活用により、子育て支援機能の充実や子育て環境の改善のほか、市内外の交流人口等の拡大による観光振興、形骸化する地域コミュニティ（活動）の再生により、地域再生を図ることが喫近の課題となっている。今後、進めていく都市環境の整備においては、本市の地域性（自然環境）、文化及び歴史面での特性を活かすことが求められており、都市計画区域内における主要な都市公園（安達ヶ原ふるさと村公園）の再整備や、市内に点在する緑とオープンスペースの確保、適正配置や利活用を進めるための計画「二本松市緑の基本計画」を定めるとともに、同計画及び別途策定中の立地適正化計画（都市機能再配置の計画）に基づき、安達ヶ原ふるさと村公園の再整備を行い、子育て支援環境の充実を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	236	A	236	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28末)	中間目標値	最終目標値 (H33末)
1	安達ヶ原ふるさと村公園の公園施設利用者数を13万人/年から16万人/年にする。（3万人/年増加） （子育て世代を中心とした）安達ヶ原ふるさと村公園の利用者数を調査する。	130000人/年	人/年	160000人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	二本松市	直接	二本松市	-	-	1-A-1公園事業特定計画調査	二本松市緑の基本計画策定	二本松市						11		-
	A12-002	公園	一般	二本松市	直接	二本松市	-	-	1-A-2都市公園ストック再編事業(安達ヶ原ふるさと村公園)	安達ヶ原ふるさと村公園及び近隣公園の一体的利用による施設の新築	二本松市						225		-
											小計						236		
											合計							236	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
二本松市において、当該社会資本総合整備計画関係課メンバーにより事後評価を実施。	令和4年3月
	公表の方法 二本松市HPに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	策定をおこなった二本松市緑の基本計画に基づき、安達ヶ原ふるさと村公園の再整備をおこなうことにより、利用者数の増加を発現させる基盤が整備された。新型コロナウイルス感染症の影響により、定量的指標である公園利用者数は低下している状況にあるが、本計画において整備された施設等の利用者数は伸びを見せており、感染症収束後における効果発現が見込まれる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も引き続き適切な維持管理をおこなうことにより、利便性の向上に努めてゆく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	公園利用者数（人／年）	
	最終目標値	160000人/年
	最終実績値	59076人/年
	（注：実績値は令和2年実績を仮入力した。事後評価策定・提出時に、最終目標年における確定数値を入力する。）新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い人流が著しく減少し、その影響が公園利用者数に反映したことが考えられる。	